

シエンタ モデリスタ セレクション

ステップパル S 取扱要領書

品番: D2523-48710

設定型式: N#P17#G 設定グレード: 全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きありがとうございます。
本書は、【ステップパル S】の取り扱い要領について記載してあります。
ご使用前に必ずこの取扱要領書をお読み頂き、記載された内容に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

取り付け概要

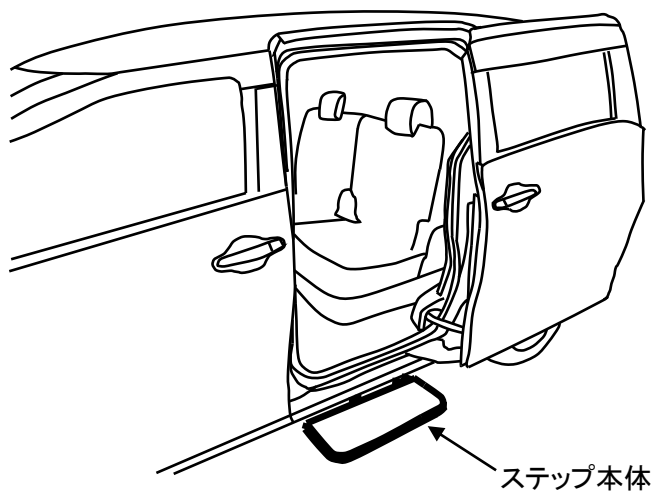


図 1. ステップ位置

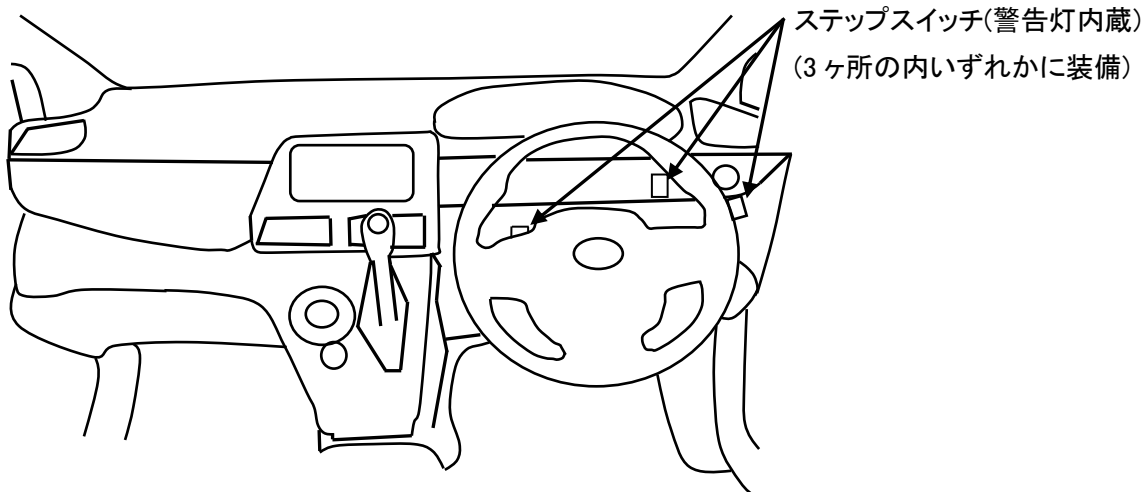


図 2. ステップスイッチ位置

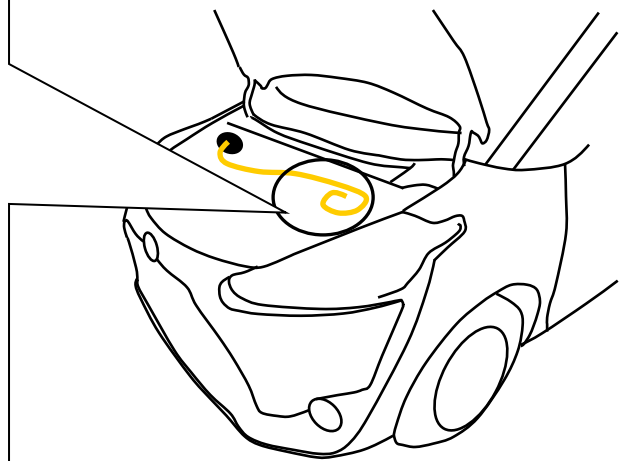
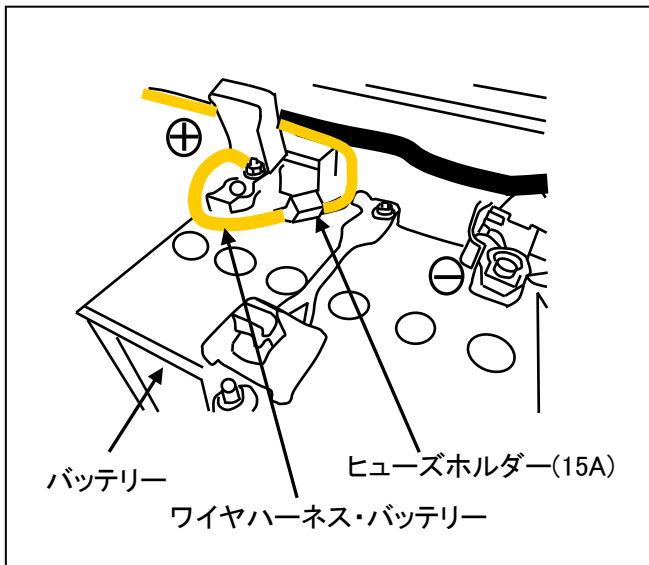


図 3. ガソリン車のヒューズ位置(ボンネット内)

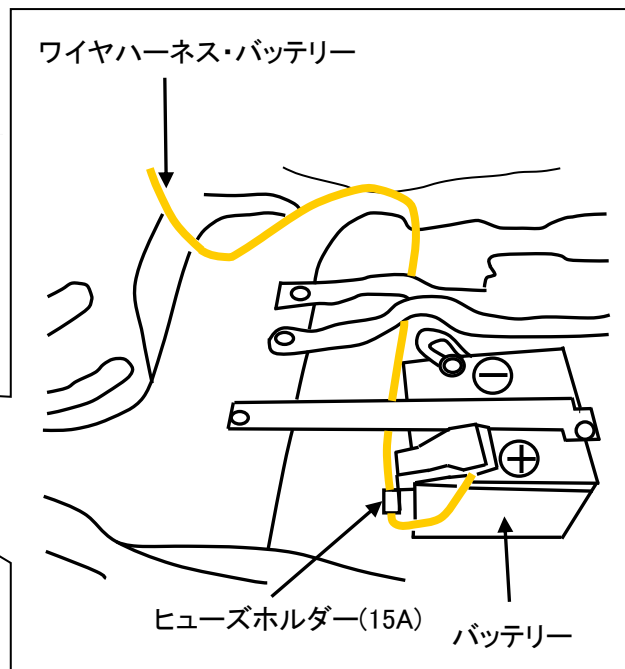
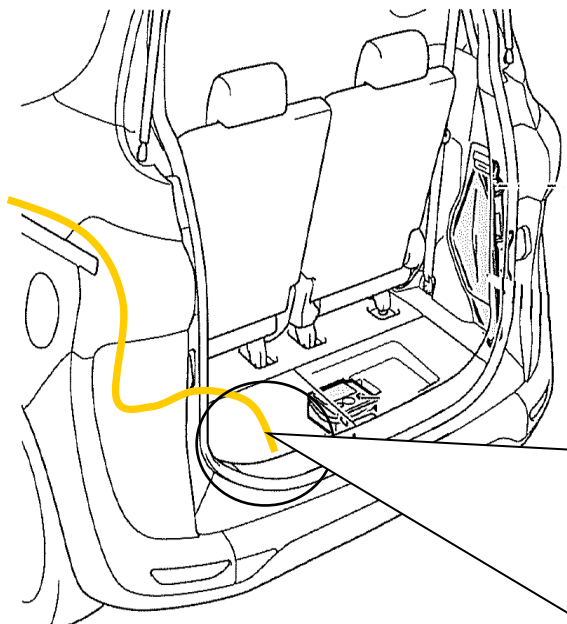


図 4. ハイブリッド車(以下 HV 車)のヒューズ位置(ラゲージ内)

取り扱い上の注意事項

○ステップ S 使用に関する注意事項

【重要】● 左スライドドアを開閉する時は、ステップ本体の近くに立たないでください。

(図 5 参照)

ステップスイッチが『ON』になっていると、左スライドドアを開けた時に、ステップ本体が自動的に出てきて、足などに当たり転倒したり、歩道との間に挟まれ、ケガをする恐れがあります。

ステップスイッチが『OFF』の時、左スライドドアが閉まっている状態から、左スライドドアを開けてもステップ本体は出てきませんが、左スライドドアを開けた後、ステップスイッチを『ON』にすると、同時にステップ本体が出てきますので、特に注意してください。



図 5

● 左スライドドアを開閉する時は、ステップ本体付近の安全を確認してから行ってください。

ステップスイッチが『ON』になっていると、左スライドドアを開けた時に、ステップ本体が自動的に出てきて、縁石等にぶつけ、ステップ本体を破損させる恐れがあります。

ステップスイッチが『OFF』の時、左スライドドアが閉まっている状態から、左スライドドアを開けてもステップ本体は出てきませんが、左スライドドアを開けた後、ステップスイッチを『ON』にすると、同時にステップ本体が出てきますので、特に注意してください。

● ステップ S は、車を完全に停止させた状態で使用してください。

ステップ本体が破損する恐れがあります。

● ステップ S は、車の乗降のみにご使用ください。

それ以外の使用をされると、ステップ本体が故障・破損する恐れがあります。

● ステップ S で乗降する時は、ステップ本体が確実に停止してから乗降してください。

ケガをする恐れがあります。

● ステップ S で乗降する時は、足元にご注意ください。

足を滑らせ、転倒するなどケガをする恐れがあります。

【重要】● ステップ本体に人が乗っている時は、乗降されているドアを閉めたり、下図のリヤドアカーテシスイッチに、触れないでください。

ステップ本体が格納され、足などを挟みケガをする恐れがあります。

(図 6 参照)

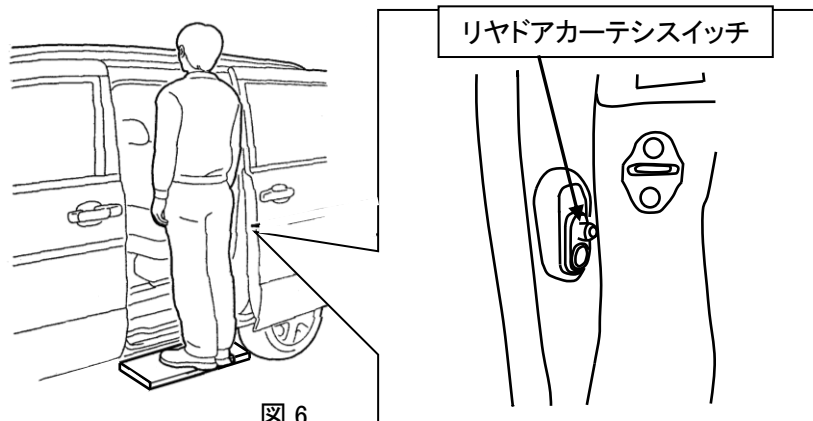


図 6

- ステップパル S を作動させる際は、エンジンをかけて作動させてください。
バッテリー上がりの原因になります。
- 走行時は、路面に注意してください。
ステップ本体は地面との距離が近くなっている為、『地下駐車場、立体駐車場の出入り口、段差のある道路、わだち路』のような場所を走行するときは、ステップ本体が地面と干渉し、破損する恐れがあります。できるだけスピードを落とし、十分に注意して走行してください。
- 雨天時および寒冷時は、ステップ本体表面に水や氷雪などが付着していることがあり、滑って転倒する恐れがありますので注意してください。
寒冷地でのご使用にあたってのご注意
走行後、ステップ本体へ付着した雪や氷が多い場合は、降車後にステップパル S を作動させ雪、氷を取り除いてください。
ステップ本体に融雪剤や泥などが付着した場合は、早めに水洗いをしてください。付着した水や氷雪によりステップ本体が凍結し、作動しない場合は、左スライドドアを閉めてステップスイッチを『OFF』にし、ステップ本体に付着している氷雪を取り除いてから、もう一度作動させてください。
ステップ本体に付着した雪や氷などを取り除くときに、ステップ本体に強い衝撃を与えることはやめてください。故障・破損の原因となる恐れがあります。
- 走行前にステップスイッチのステップ警告灯が消灯していることを確認してください。
ステップ警告灯が点灯している時は、左スライドドアが確実に閉まっていることと、ステップ本体が格納していることを確認してください。ステップ本体が出ているまま走行すると、人や物に当たるなど、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 走行前にステップスイッチを『OFF』にしてください。
ステップスイッチが『ON』になっていると、万一、走行中に左スライドドアが開いた場合、ステップ本体が作動してしまい、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ステップ本体に、『110kg』以上の荷重を加えないでください。
ステップ本体の 1ヶ所にかかる許容荷重は『110kg』です。許容以上の荷重を加えますと、ステップ本体が破損する恐れがあります。
- 車両をジャッキアップする時は、ステップ本体に干渉しない位置で行ってください。
ステップ本体が破損する恐れがあります。
- ステップ本体・コントロールボックス・スイッチ等を故意に改造したり、調整したりしないでください。
ステップパル S の作動不良や車両火災の原因になります。
- ステップ本体は回転作動しますので、挟まれに注意してください。
- ステップ本体の表面は樹脂製ですので、強い衝撃を加えると割れる恐れがあります。
- ステップ本体の表面の滑り止めに、つま先や、ヒールを引っ掛けて転倒しないように注意してください。

【重要】 ● ステップ本体は地面との距離が近くなっています。地下駐車場、立体駐車場の出入り口、段差のある道路、わだち路等を走行し、ステップ本体が地面に干渉してしまった場合や、ステップパル S を使用した際に、縁石等にぶつけてしまった場合は、直ちに購入先の販売店で点検を受けてください。ステップパル S の作動に異常がない場合でも、車両部品に影響を与えている可能性がありますので、必ず点検を受けてください。

○故障、修理に関する注意事項

- ステップ本体は地面との距離が近くなっています。地下駐車場、立体駐車場の出入り口、段差のある道路、わだち路等を走行し、ステップ本体が地面に干渉してしまった場合や、ステップ S を使用した際に、縁石等にぶつけてしまった場合は、直ちに購入先の販売店で点検を受けてください。ステップ S の作動に異常がない場合でも、車両部品に影響を与えている可能性がありますので、必ず点検を受けてください。
- ステップ S のヒューズの交換作業をする時は、必ずバッテリーの⊖端子を外して作業を行ってください。(ガソリン車 P2 図 3、HV 車 P2 図 4)
電気ショート事故による感電やケガの恐れがあります。
バッテリーを一度外してしまうと「パワーウィンドウ開閉」「ナビバックガイドモニター表示」等が作動しない場合があります。車両によって状況が異なりますので、車両に付属されている「取扱書」で内容をご確認いただき、修復してください。
- ステップ S のヒューズの交換作業は、故障時のみ行ってください。
正常な状態で処置をすると、ステップ S の故障につながります。

取り扱い・操作方法

操作方法

1. ステップスイッチが『ON』の状態では左スライドドアを開けると、ステップ本体が自動で出ます。ステップ本体が出るとステップ警告灯が点灯します。(ステップ警告灯は、ステップスイッチに内蔵されています。)(図7参照)
2. 左スライドドアを閉めるとステップ本体が自動で格納します。ステップ本体が完全に格納されるとステップ警告灯が消灯します。車を発車させる時は、ステップ警告灯の消灯を確認の上、発車してください。
3. ステップパル S を使用しない時はステップスイッチを『OFF』の状態にしてください。左スライドドアを開けてもステップ本体は作動しません。ただし左スライドドアを開けた後、ステップスイッチを『ON』にすると、ステップ本体が出てきますので、注意してください。
4. ステップ本体が出ている時にステップスイッチを『OFF』にしても、ステップ本体は格納されず、左スライドドアを閉めるとステップ本体は格納されます。

故障時の処置

ステップ本体が故障などにより格納できない場合は、下記のような処置をして、早めに購入先の販売店で点検・修理を受けてください。

1. ステップスイッチを『OFF』にして、ステップ本体と車両側ハーネスを接続しているコネクタを外してください。(図8参照)

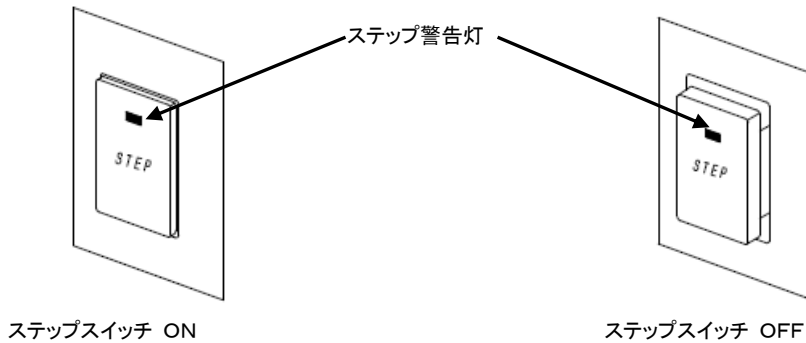
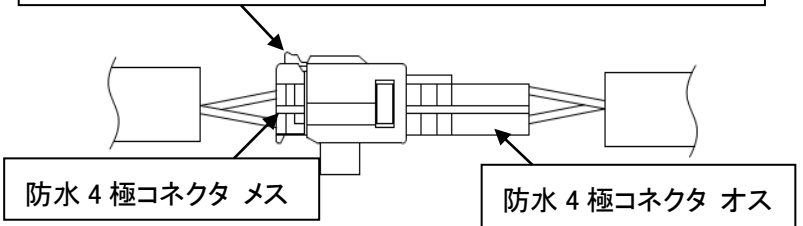


図 7

この部分を押しながら防水 4 極コネクタ メスを引張り抜く。



防水 4 極コネクタ メス

防水 4 極コネクタ オス

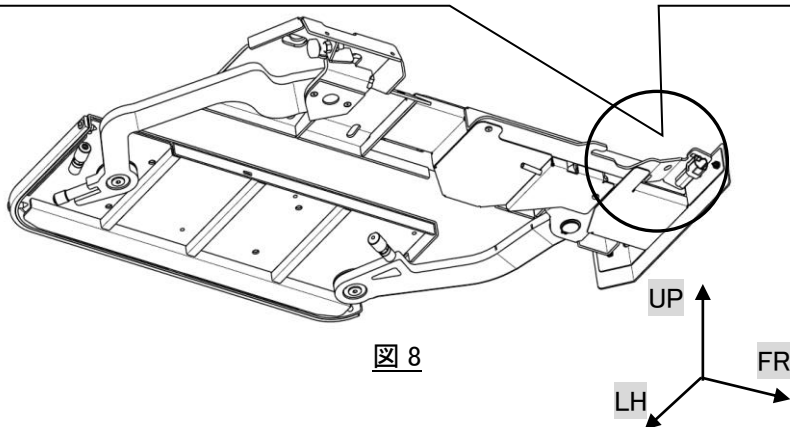


図 8

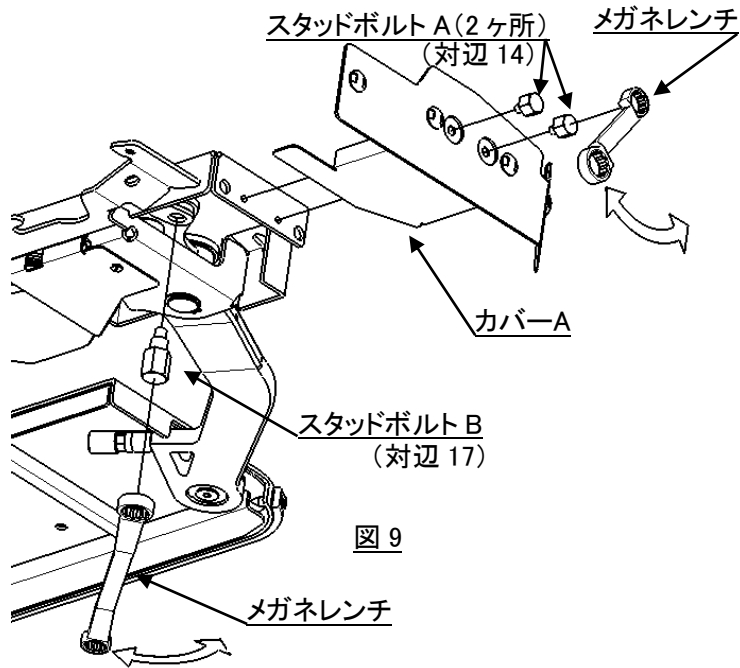


図 9

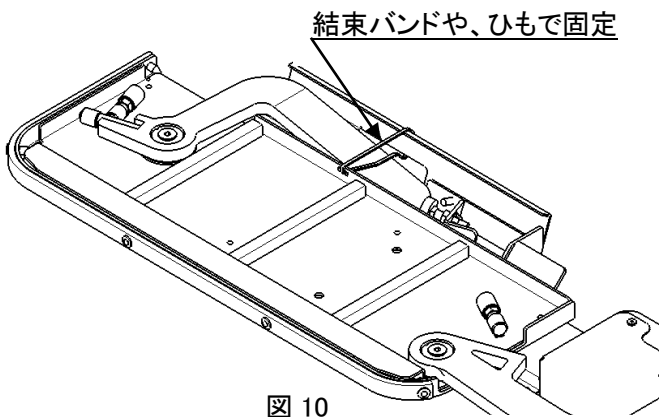


図 10

2. ステップ本体にあるスタッドボルト A (2ヶ所)をメガネレンチ(取扱要領書に同封)で外し、カバーAを外してください。(図 9)
(スタッドボルト A、カバーA は紛失しないように保管してください。)
3. メガネレンチ(取扱要領書に同封)を使い、スタッドボルト Bを外してください。(図 9)
この時、ステップ本体が格納方向に動くことがありますので、必ずステップ本体を手で押さえて、スタッドボルト Bを外してください。(スタッドボルト B は紛失しないように保管してください。)
4. ステップ本体を手で格納してください。
5. カバーAとスタッドボルト Aを元の状態に戻してください。
6. 結束バンド 300L(取扱要領書に同封)や、ひもなどを用いて確実にステップ本体を固定してください。(図 10)

ステップ S を復元する時

1. スタッドボルト A (2ヶ所)を外し、カバーAを外してください。
2. 六角穴付ボルト (M4) (4ヶ所)を外し、カバーBを外してください。
3. 六角穴付ボルト (M6) (3ヶ所)を外し、モータを外してください。
このボルトは緩み止め剤が塗布されており、緩みにくなっていますので、外す際に六角穴が潰れたりしないよう注意してください。
4. ステップ本体を張出状態にしてください。

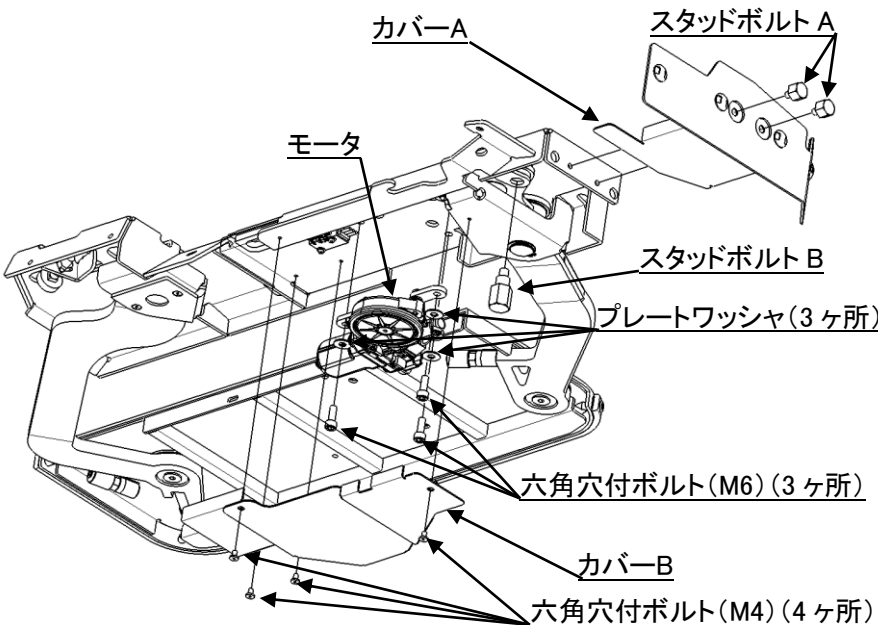


図 11

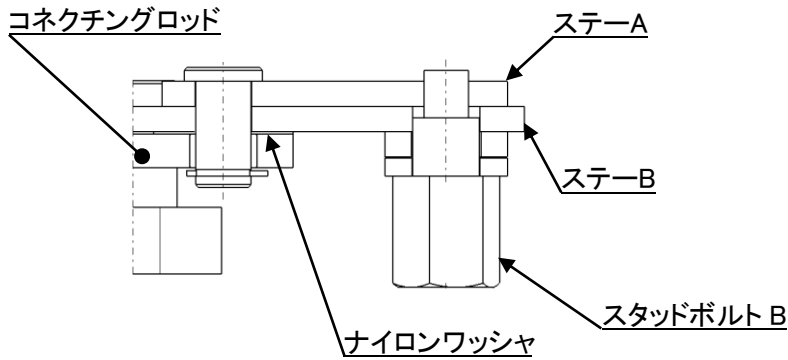


図 12

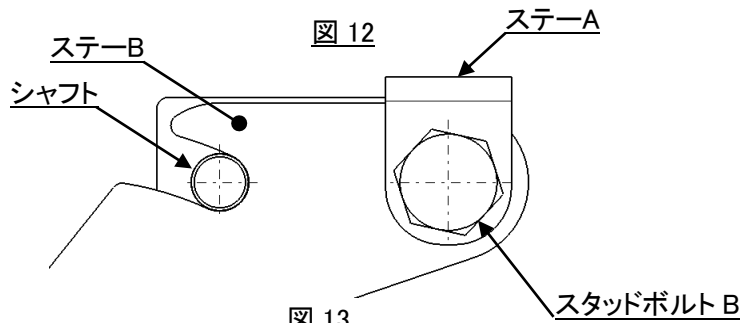


図 13

この図は張出状態を示しています

5.ステアB はステアA とナイロンワッシャの間にしてください。(図 12)

6.ステアA のシャフトがステアB の切欠きの終わりにあることを確認してから、スタッドボルト B を締め付けてください。(図 11、13)
締め付けトルク: 10.2~16.3N・m

7.ハーネスを挟まないように注意して、モータを六角穴付ボルト (M6)(3ヶ所)で取り付けてください。(図 11、14)
締め付けトルク: 8.9~10.8N・m

六角穴付ボルトのネジ部には東亜合成アロンタイト R、又は相当品の緩み止め剤を塗布してください。

8.ホースをカバーB の通し穴に通してからカバーB を六角穴付ボルト (M4) (4ヶ所)で取り付けてください。(図 11、15)
締め付けトルク: 1.2~2.0N・m

9.カバーA をスタッドボルト A (2ヶ所)で取り付けてください。(図 11)
締め付けトルク: 3.9~5.9N・m

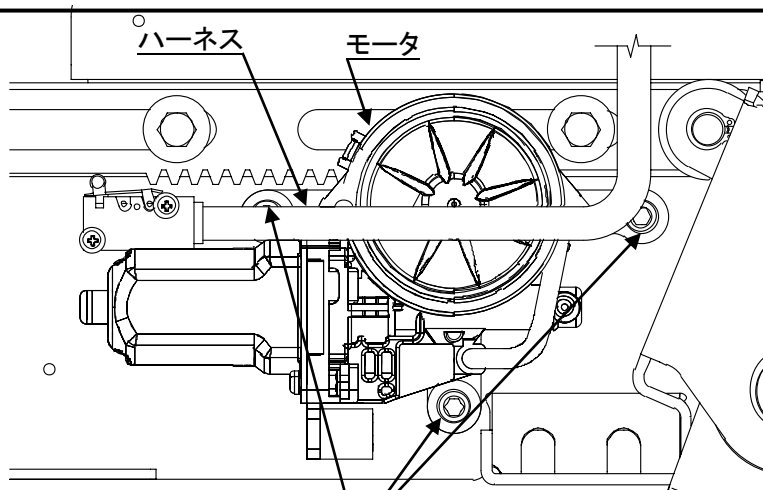


図 14

六角穴付ボルト (M6) (3ヶ所)

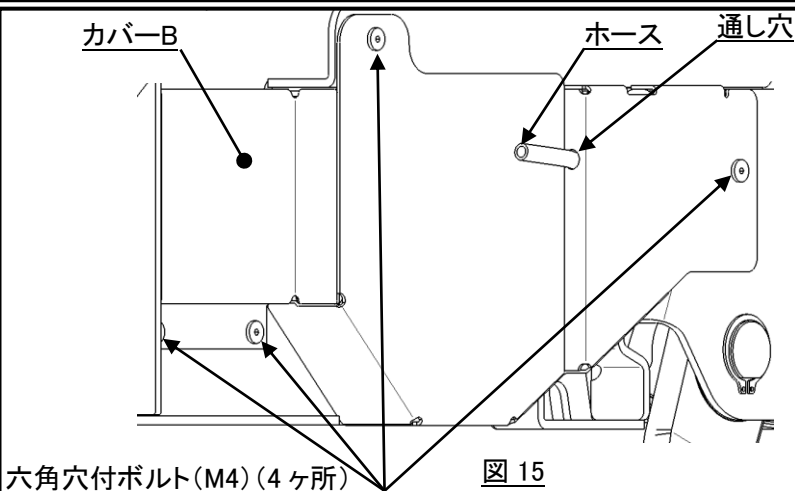


図 15

六角穴付ボルト (M4) (4ヶ所)

配線図

